

中・四国アメリカ文学会第36回大会プログラム

期日 平成19年6月9日(土)・10日(日)
会場 高知大学人文学部第1会議室(人文学部棟5階)
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1
(TEL: 088-844-8425 FAX: 088-844-8249)

第1日 6月9日(土)

受付 (12:20~13:20)

開会式 (13:20~13:30) 開会の辞

研究発表 (13:45~16:40)

会長 林 康次 (愛媛大学)

1. Toni Morrison の *The Bluest Eye* に見られるブルースの手法とその役割

(13:45~14:25)

司会 吉岡 志津世 (神戸女子大学)

発表 中村 日野実 (広島大学[院])

2. *For Whom the Bell Tolls: Tension Between Journalism and Fiction*

(14:25~15:05)

司会 前田 一平 (鳴門教育大学)

発表 Huang Jun (広島大学[院])

(休憩 15分)

3. 「怪物」の正体は? ——Stephen Crane の “The Monster”(1898)と電気恐怖の言説

(15:20~16:00)

司会 上岡 克己 (高知大学)

発表 増崎 恒 (追手門学院大学)

4. エミリオ・ディキンソンの詩における法律のイメージ

(16:00~16:40)

司会 進藤 秀彦 (就実大学)

発表 濱田 佐保子 (岡山学院大学)

(休憩 20分)

特別講演 (17:00~18:00)

講師 亀井 俊介 氏 (岐阜女子大学)

演題 アメリカ文学史をめぐって

司会 加藤 好文 (愛媛大学)

懇親会 (19:00～21:00)
会場 高知グリーン会館 1階広間
司会 山下 興作 (高知大学)
会費 6,000円

第2日6月10日(日)

シンポジウム (9:30～12:30)
メルヴィルとポストコロニアリズム

1. メルヴィルとコロニアルな視線
2. イスパノ・フォービアと奴隷制
——「ベニト・セレノ」におけるポストコロニアリズム再考
3. メルヴィル最晩年の詩に見る楽園に触れる
4. ポストコロニアリズムと『ビリー・バッド』

司会 藤江 啓子 (愛媛大学)
発題 藤本 幸伸 (広島文教女子大学)
発題 辻 祥子 (松山大学)
発題 大島 由紀子 (福岡大学)
発題 藤江 啓子

総会 (12:30～12:50)
閉会式 (12:50～13:00) 閉会の辞

議長 林 康次
副会長 加藤 好文

【お知らせ】

1. 「会報46号」は発表レジュメとなっております。当日ご持参ください。
2. 懇親会・評議員会・全国大会実行委員会へのご出欠については、同封のハガキを5月25日(金)までにご投函ください。
3. 会費納入(本部会費4,000円、支部会費4,000円[学生会員3,000円])は同封の振替用紙にてよろしくごお願い申し上げます。
4. 総会終了後13:30より全国大会実行委員会を開催します。関係の方々のご出席のほどよろしくごお願い申し上げます。